

# 旭南部地区

## きらっとあさひプラン

第3期 旭区地域福祉保健計画  
平成28年度～32年度

### 地区別 計画

旭南部地区は、区の南部に位置し、厚木街道付近から保土ヶ谷区境までの区域です。区域内を保土ヶ谷バイパスが縦断し、起伏に富み坂道が多いところで、南本宿市民の森、南本宿公園など緑に恵まれています。地区内の高齢化率は区内2番目に低く、15歳未満の人口比率は高く、今後も人口や子どもの増加が見込まれます。



#### ■ めざす地区の姿

- ・地域の福祉課題を身近な問題として協力し合う土壌の育成が進んでいる。
- ・乳幼児から高齢者まで安心して暮らせるための諸活動が継続して行われている。
- ・障害児者等に関する認識アップと、支援に関する意識の向上が進んでいる。
- ・世代間交流を含めて、住民参加による明るいまちづくりが醸成されている。

計画実行に  
あたっての  
ポイント!

- ☆ 地域の福祉保健活動を支える各団体の、活動の特性を踏まえた上で、各種情報の共有化や支援体制の育成を図り、地域を支える力としての福祉保健活動に関する意識の向上を目指す。
- ☆ 各計画に関しての主たる実行団体名を※印〔内〕に表示。

#### ■ 目標A

連動する区計画の柱 1 地域の福祉力アップ

### 地域の福祉力アップ

#### ○福祉保健計画等の周知

- ・地域情報の共有化（連合自治会・社協機関誌や各自治会での情報提供促進）
  - ・福祉保健意識の向上（各団体活動での周知活動促進）
  - ・地域ケアプラザ活動の周知度アップ（広報紙の有効活用、出前講座等開催支援）
- ※〔地区全体〕  
※〔連合・社協〕

#### ○自助・共助の活動支援

- ・自助・共助活動の必要性再確認（個々人の立場で自助・共助を考える機会をつくる）
  - ・災害時を含む支援体制の構築と指針検討（団体ごとに指針を検討し地域での共有化を図る）
  - ・支援ボランティアの掘り起し（隣接地区等も視野に入れ支援者を募る）
- ※〔地区全体〕  
※〔社協・民児協（民生委員児童委員連絡協議会）〕

#### ○子ども参加行事支援

- ・子ども参加行事の開催と支援  
（吹き矢大会・親子釣り大会・大縄跳び大会等の開催・支援）  
※青指（青少年指導員連絡協議会）  
地子連（地区子ども会連絡協議会）
  - ・福祉体験活動への支援  
（ジュニアボランティア活動の支援など）
- ※〔民児協・社協〕



## ■目標B

## 安心して生活できる地域づくり

## ○顔の見える関係づくり

- ・地域住民間での関係づくり支援（高齢者を含めての地域情報の共有化と各種支援体制の模索）  
※〔老ク（老人クラブ連合会）・民児協・社協・自治会〕
- ・各種見守り活動の支援（各団体間での連携強化と情報交換促進） ※〔老ク・民児協・自治会〕

## ○要援護者対策構築

- ・災害時要援護者体制の構築（平常時を含む） ※〔自治会・民児協・老ク〕
- ・平常時を含めての見守り強化（認知症対応等を含む見守り活動の近隣住民への協力要請等実施）  
※〔自治会・民児協・老ク〕

## ○子育て不安解消など

- ・子育て中の親を含めての支援  
（子育てサロン「ママ・キッズ」の活動推進） ※〔社協・民児協・他〕
- ・子どもの健全育成支援（青指主導の各種行事等への支援）※〔青指・社協〕
- ・児童の安全見守り活動支援（学援隊活動等の見守り活動の支援）  
※〔PTA・自治会・老ク・他〕



## ■目標C

## 地域の元気がアッフ

## ○健康づくり推進

- ・連合・老ク連各種行事等支援（健民祭や老ク連の催事等を積極的に開催）※〔連合・老ク・社協〕
- ・体操教室他、開催と支援（保活主導の体操教室・ロコモ度チェック等の活動や、地域住民主体の体操教室等支援）  
※〔保健活動推進委員会・社協・自治会〕



## ○高齢者の居場所づくり

- ・高齢者と介護者の居場所づくり（お茶のみ地域サロン「ほっと」の活性化）  
※〔社協・民児協・老ク・他〕
- ・高齢者が地域行事等に積極的に参加しやすい仕組みづくり  
（さらなる高齢化時代に向け、高齢者が地域活動に参加しやすい仕組みづくりを模索） ※〔社協・民児協・老ク・自治会〕



## ○障害児者関連支援

- ・障害児者・家族の要望等調査（当事者団体及び施設等からの要望等を把握し地域住民に情報等提供、支援を呼びかける）
- ・地域行事等への出番づくり（当事者や施設等を含めて協議の場を持つ）  
※〔社協・民児協〕

## ○教育水田での米づくり

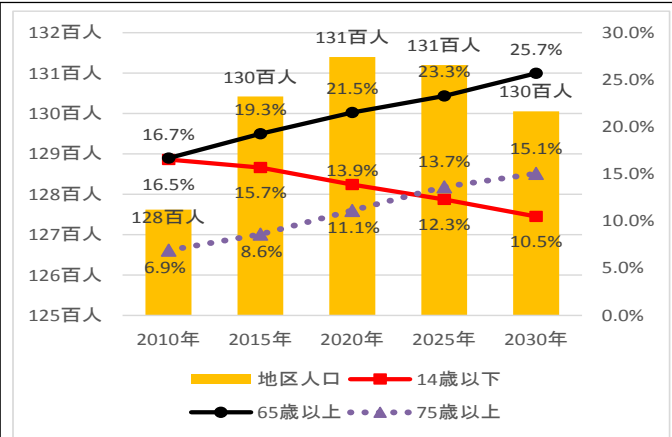
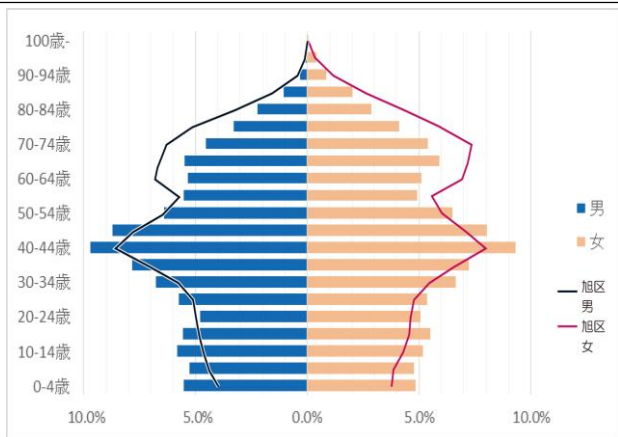
- ・3世代交流による米づくり（地域の稲作指導員と学校・PTAが連携して三世代交流活動としての米づくりを実施、食育活動・福祉活動にもつなげる）  
※〔地域住民・PTA・他〕



## ■人口データに見る地区の特徴

- ・人口ピラミッド 2015 年 3 月を見ると、旭区（折れ線）に比べ、60 歳以上の層の比率が少なくなっています。15 歳以下も含め、49 歳以下の層の比率が区の平均よりも高くなっています。
- ・人口の推移では、この 5 年間で約 200 人増加しています。高齢化率は 19.3%で、区内でも低い地区のひとつです。
- ・世帯数はこの 5 年間で約 200 戸増加しています。また、世帯人員は 2015 年で 2.38 人/戸となっています。
- ・地区の将来人口の予測では、2020 年、および 2025 年で約 13100 人と見込まれ、2020 年をピークに減少すると見込まれます。また、高齢化率は 2020 年で約 21.5%、2025 年で約 23.3%になると見込まれます。

※人口・世帯数の数値は町丁目単位での集計のため、町丁目が地区をまたぐ等により、実際の数値と一致しない場合があります。



## ■ 2期計画の振り返り

○子育て支援⇒未就園児親子の不安の解消、児童（親子）の健全育成に成果あり。

- ・ママ・キッズ、親子釣り大会、大縄跳び・吹き矢大会開催・支援等

〔民児協・地区社協・青指・地子連・ボランティア等〕

○高齢者支援・健康づくり支援⇒高齢者の不安解消、健康づくりに役立っている。

- ・ひとり暮らし高齢者交流会、見守り・友愛活動、健康体操教室等

〔民児協・地区社協・老ク・ボランティア・保健活動推進員、連合自治会〕

○まちづくり・他⇒地域内の交流(世代間を含め)と、防犯活動や災害時対策等に進捗が認められた。

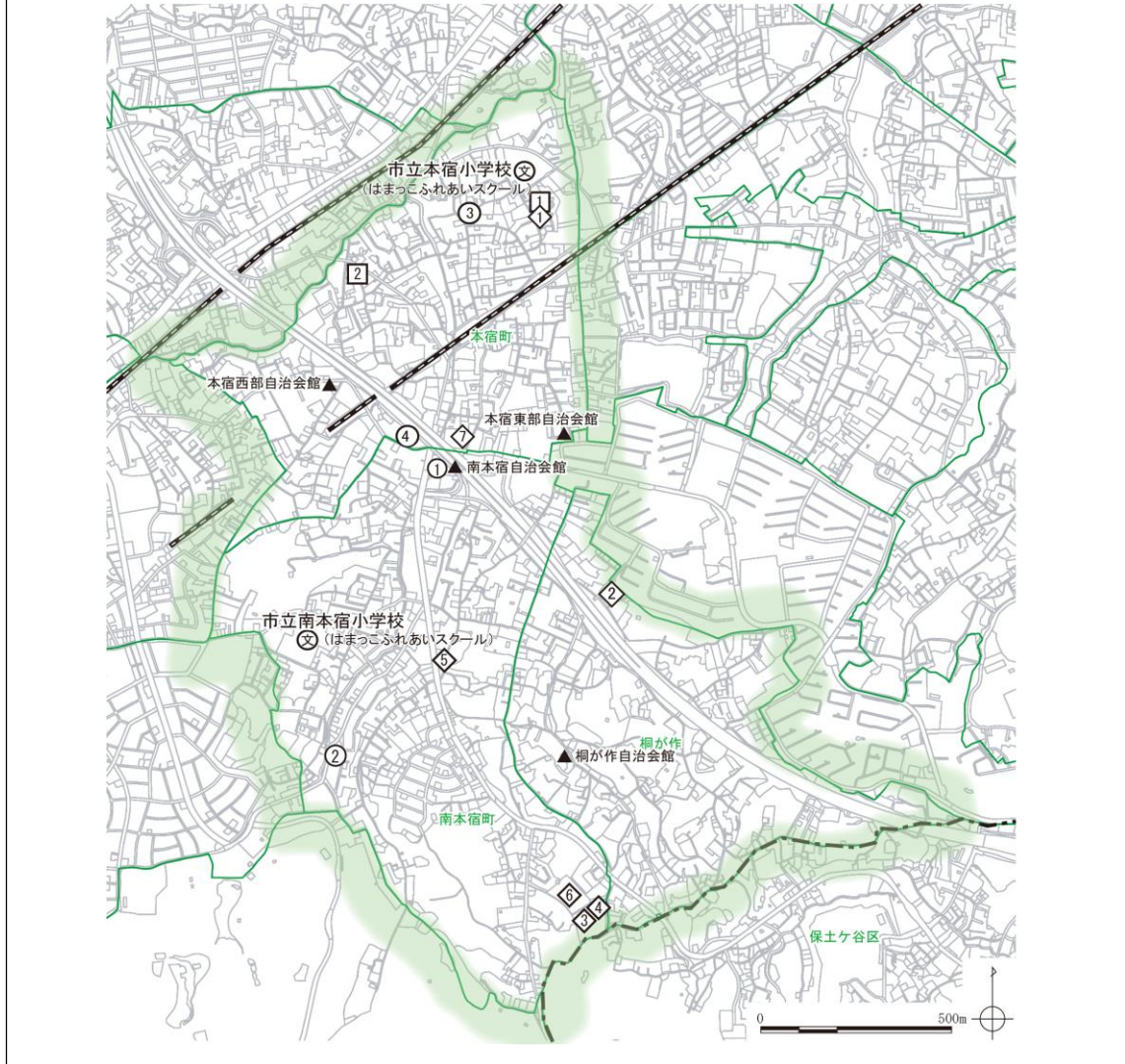
- ・健民祭、防災訓練、防犯のつどい、災害時支援対策、教育水田活動、広報紙での情報共有化等
- ・障害児者等支援については状況把握の初期段階止まりである。

〔連合自治会（含、単位自治会）・地区社協・老ク・小学校（PTA）〕

## ■地区の福祉課題と対応

- ・地域を支える力としての福祉保健に関する意識の向上を図ることも必要。そのためには、地域における各種情報の共有化、支援体制の育成が必要。
- ・地域内各自治会の活動には違いがあり、福祉保健活動に関する意識にも差がある。連合自治会としての活動にはまとまりがあるので、それを軸に諸活動を推進することを視野に入れたい。
- ・地域内にケアプラザや地区センターが無く、中学校も無い。隣接地域の施設や学校との連携を視野に入れた活動の検討も必要と思われる。
- ・2025年・高齢化問題（団塊の世代⇒後期高齢者となる）に対する対応への検討も課題。
- ・子育てのしやすい環境の整備。（小・中学校等との連携を含め）
- ・障害児者に関する状況の認識アップと、支援に関する活動の掘り起しが課題。

## ■福祉保健施設の分布



## ■施設リスト

子ども

### 認可保育所

- ① 横浜小谷かなりや保育園

### 家庭的保育事業

- ② みうら家庭保育所

### 放課後児童クラブ

- ③ 学童の家わんぱく

### 幼稚園

- ④ 本宿幼稚園

障害者

### 障害者施設

- ① まどか工房 I
- ② 横浜マックデイケアセンター

高齢者

### 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)

- ① フレンドィ本宿
- ② サリューブルあさひ式番館

### ケアハウス

- ③ グリーンヴィラ富士見

### 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

- ④ 富士見園
- ⑤ ヴィラ南本宿

### 介護老人保健施設

- ⑥ ナーシングピア横浜

### 特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム)

- ⑦ ホームステーションらいふ二俣川